

# ○遊休農地の復旧と活用

## 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	青森県八戸市 <small>はちのへし</small> 門前 <small>もんぜん</small>			
協定面積 13.9ha	田	畑(100%) そば、りんご	草地	採草放牧地
交付金額 49万円 (平成25年度)	個人配分			0%
	共同取組活動 (100%)	水路、農道等の維持・管理活動		74%
		マスタープランの将来像を実現するための活動		24%
		その他		2%
協定参加者	農業者 31人 (構成員 31人)			開始：平成13年度
人・農地プランの作成状況	集落全域で作成済			

## 2. 取組に至る経緯

八戸市門前集落は、市の南部、南郷区の東部に位置する島守地区にあり、対象農地の畑には、ソバやりんごが作付けされている。門前集落は、第1期対策時から当制度に取り組んでいるが、制度を継続してきたことにより、集落で耕作放棄の発生や農地法面の崩壊を防ぐことができた。依然として、農業者の高齢化や後継者不足が進んでおり、保全管理が困難な農業者もいるため、第3期対策からはC要件の「集落ぐるみ型」を選択し、集落全体で遊休農地の保全管理に取り組み、保全管理した農用地には南郷区特産のソバを作付けすることとした。

## 3. 取組の内容

集落内で役員会等の話し合いを活発に行い、水路の泥上げや農道の草刈り等を積極的に共同で行うとともに、維持管理が困難な農用地については、集落全体で草刈等の保全活動を行っている。草刈等を行った農地には、景観作物であるソバを作付けするなど集落の景観向上や多面的機能の増進に集落全体で取り組んでいる。

また、先進地視察研修、地元の祭りにも積極的に参加し、地域住民との交流により地域の活性化も図っている。



【そばの播種】



【農道の草刈り】

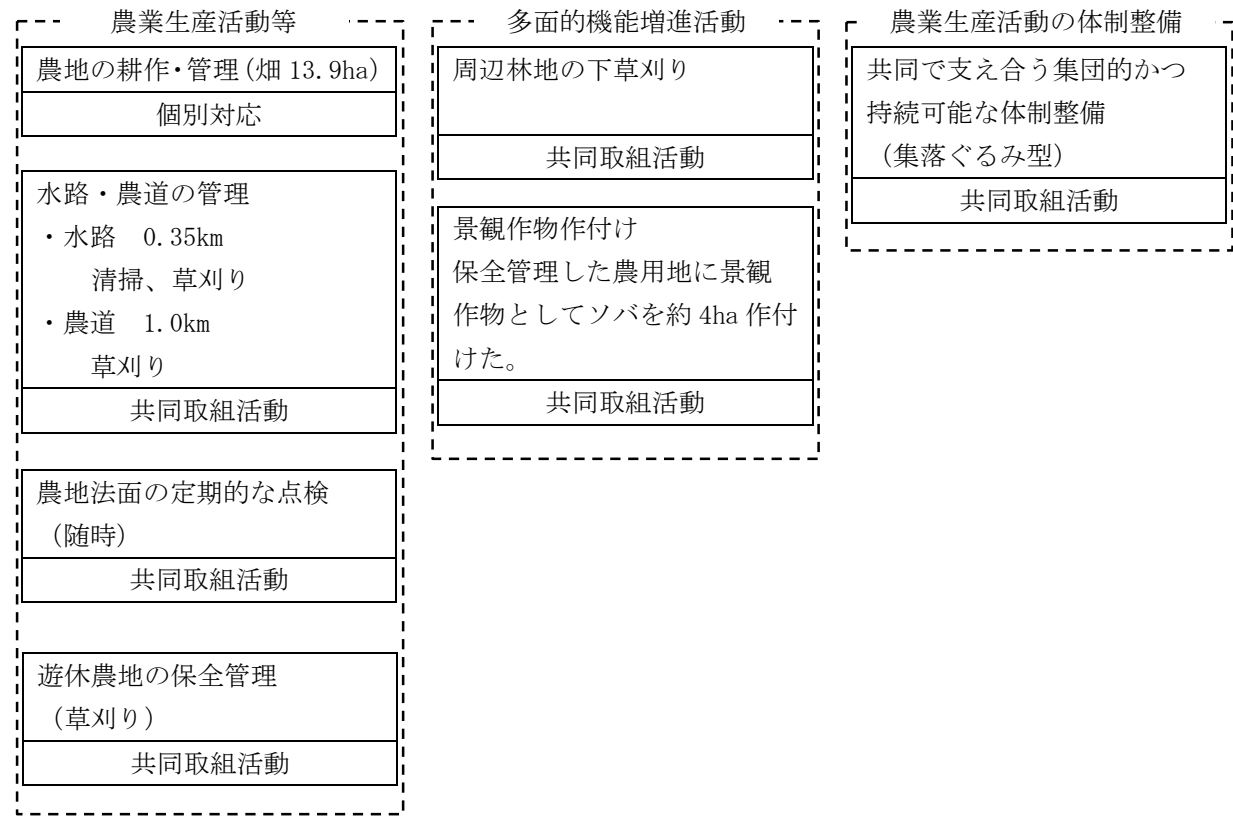
**【集落の将来像】**

- 集落ぐるみで農業生産活動の体制整備を図る。



**【将来像を実現するための活動目標】**

- 農業の継続が困難になった農地が生じた場合に備え、サポート体制を維持・強化する。



**4. 今後の課題等**

取組によって、集落協定内の遊休農地の発生防止になり、病虫害防除にも役立っている。また、協定参加者で協力して作業を行い、研修会へ参加することにより、地域住民との交流も深まった。

今後もサポート体制の充実を図り、農業情勢に対応した取組を行っていききたい。

**【第2期対策の主な成果】**

- 水路や農道の適正な維持管理
- 耕作放棄地の解消および景観作物作付けによる集落の景観向上